公立阿伎留医療センター
No.97　令和元年８月

地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行　地域医療連携センター
電話　042-558-0321（代表）
FAX　042-550-5190（直通）

公立阿伎留医療センターに赴任して～ご挨拶～

リウマチ科医長　立花　秀介（日本リウマチ学会専門医・指導医　日本内科学会総合内科専門医）

平成 31 年 4 月から公立阿伎留医療センターに赴任し、リウマチ科医長を拝命いたしました。リウマチ科では関節リウマチをはじめ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、多発性筋炎・皮膚筋炎、全身性強皮症、血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛症などの疾患を扱っています。

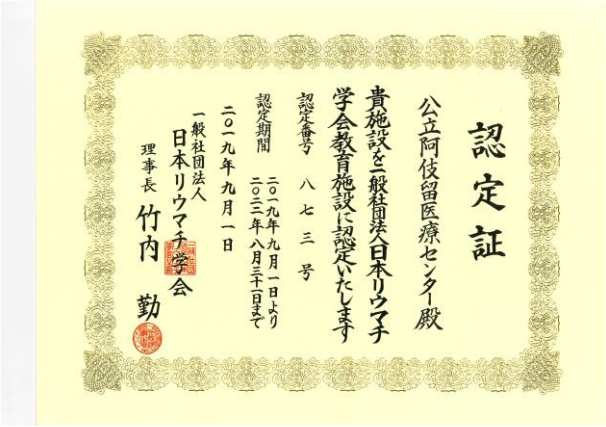
患者数 60 万～100 万人と推定される関節リウマチの治療は、インフリキシマブ（商品名レミケード）に始まる生物学的製剤の誕生により、「寛解」という関節の痛みや炎症がない状態へとコントロールすることが可能になりました。関節リウマチにおける関節破壊は発症 2 年以内に急速に進行することが分かり、早期診断・早期治療の重要性が考えられています。

私が研修医として働き始めた平成 17 年当時ではインフリキシマブ、エタネルセプト（商品名エンブレル）の 2 剤のみだった生物学的製剤も、トシリズマブ（商品名アクテムラ）、アダリムマブ（商品名ヒュミラ）、アバタセプト（商品名オレンシア）、ゴリムマブ（商品名シンポニー）、セルトリズマブペゴル（商品名シムジア）、サリルマブ（商品名ケブザラ）が加わり、計 8 製剤まで増えました。さらに分子標的治療薬である経口 JAK（ヤヌスキナーゼ）阻害薬も加わりました。

このように関節リウマチ治療の選択肢が広がる中、どの治療薬を選択するかは、合併症や生活スタイルなど患者毎の背景を踏まえた上で適切な薬剤を判断し、丁寧な診療を心掛けたいと思います。

関節症状以外にも不明熱、乾燥症状、筋痛、レイノー現象を認めるなど、どのような症例でも構いません。

なお、外来担当日は、火曜日と金曜日となっておりますので先生方からのご紹介をお待ちしています。


認定証

公立阿伎留医療センター殿

貴施設を一般社団法人日本リウマチ学会教育施設に認定いたします

認定番号　八七三号

認定期間　二〇一九年九月一日より二〇二二年八月三十一日まで

二〇一九年九月一日

一般社団法人
日本リウマチ学会
理事長　竹内　勤

★　令和元年９月１日付で、日本リウマチ学会教育施設に認定されました。

2019 地域連携看護セミナーについて

地域医療連携センターでは、地域の病院、介護福祉施設、訪問看護ステーションに勤務されている看護職の皆様を対象とした地域連携看護セミナーを開催しております。

第１回として、6 月 21 日（金）に感染管理認定看護師による「自施設の薬剤耐性菌対策は十分にできていますか？」を、第 2 回目として、7 月 12 日（金）には緩和ケア認定看護師による「どうしていますか？苦痛症状～看護師ができる症状緩和～」のテーマに開催し、外部の方々、当院看護部含めてそれぞれ 48 名、62 名の参加をいただきました。

秋川流域のみならず、青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町、昭島市からも多数のご参加をいただき、ありがとうございました。

次回は 9 月 13 日（金）18 時 30 分より、がん化学療法看護認定看護師による「抗がん剤による皮膚症状について～何の薬で、いつ出るの？～」をテーマに開催予定です。

6/21（金）担当看護師（感染管理認定看護師）呉　禮媛

7/12（金）担当看護師（緩和ケア認定看護師）　芦名　みどり

ＣＴ・ＭＲＩ・ＲＩ等のご予約について

放射線科長（放射線技師）　花岡　明

画像診断のみをご希望される方は、診察なしで、ダイレクトに放射線科でご予約を承ります。放射線科部長　謝　毅宏医師による正確な読影結果を迅速に返信いたします。専用の申し込み用紙がございますので、ご利用ください。

６４スライスＣＴ　１台
１６スライスＣＴ　１台

ＭＲＩ装置（１．５Ｔ）２台

ガンマカメラ装置

血管造影装置
（平成２９年８月更新）

検査予約は放射線科にお電話ください。（042－558－0321　内線 2200）

空いている日時をご案内いたしますので、決定後に専用の申し込み用紙を（042－558－0571 放射線科直通）までＦＡＸしてください。

複写になっている予約票を診療情報提供書と共に患者さんに持参いただくようお伝えください。

読影結果は１週間以内に郵送いたします。

またフィルム、ＣＤ-Ｒをご希望の方には当日患者さんにお渡しします。先生方からのご紹介をお待ち申し上げております。

放射線科からのお知らせ

骨密度検査を承ります！

放射線科長（放射線技師）　花岡　明

健康人の骨組織では、常に活発な骨形成と骨吸収（破壊）を繰り返しながらもその間にバランス（動的平衡状態）が保たれているために、骨量は一定に保たれて運動器官としての構造及び強度が維持されています。

骨粗鬆症とは、老化や閉経など様々な原因によって、骨代謝ににおける骨吸収・骨形成の平衡関係が破綻した結果、骨からカルシウムが失われて骨量が減少し、このため骨の微細構造に劣化が起こって、脆弱性が増大して、ちょっとした刺激で病的骨折を起こしやすくなった骨疾患の病態を指します。骨粗鬆症破綻運動をあまり行っていない高齢の女性の大腿骨や脊椎骨に起こりやすい傾向がありますので、老化現象の一つとして、捉えることができます。

DXA法（二重X線エネルギー呼吸測定法）で腰脊椎骨の骨密度を測定して、YAM（若年成人平均骨密度値、20歳～40歳）の80%以上が正常、YAMの70%以上80%未満が骨量減少、YAMの70%未満が骨粗鬆症と判定されています。

骨粗鬆症のある方は、くれぐれも転倒骨折の予防を心がけていただきたいと思いますが、骨粗鬆症の治療については、最近新しい薬剤が多数ありますので、整形外科を受診して、ご相談下さい。

○検査概要

微量のX線を使用し、短時間で骨密度が測れます。 定期的に検査を行うことで、骨密度の低下を早期に発見し、骨粗しょう症や骨折の予防・治療に役立ちます。

○検査方法

専用測定装置にて、ガイドライン推奨の「腰椎」および「大腿骨近位部」を測定します。

「私も日々の診療に骨密度検査を使っています」

整形外科部長　小野医師

○費用（保険適用）

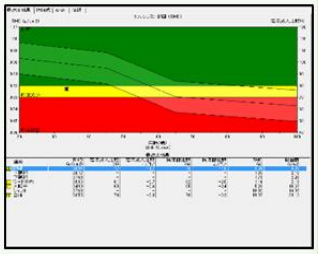
700点＋初診料

（内訳）

検査費用	450点
診療情報提供料	250点

○検査結果

即日患者さんに手渡します。



予約のお問い合わせ

午後（応相談）

～詳細は下記まで～

放射線科直通

TEL 042-558-0321

（内線）2200